

FUJITA

**2024年3月期第2四半期
決算補足説明資料**

2023年11月14日

株式会社フジタコーポレーション

証券コード:3370

○売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益 ⇒ 増収・増益

売上高 : 感染症5類分類などコロナ感染症対策緩和による追い風や、商品価格値上げなどの影響、連結子会社取得による売上計上により増収（前年同期比110.1%）

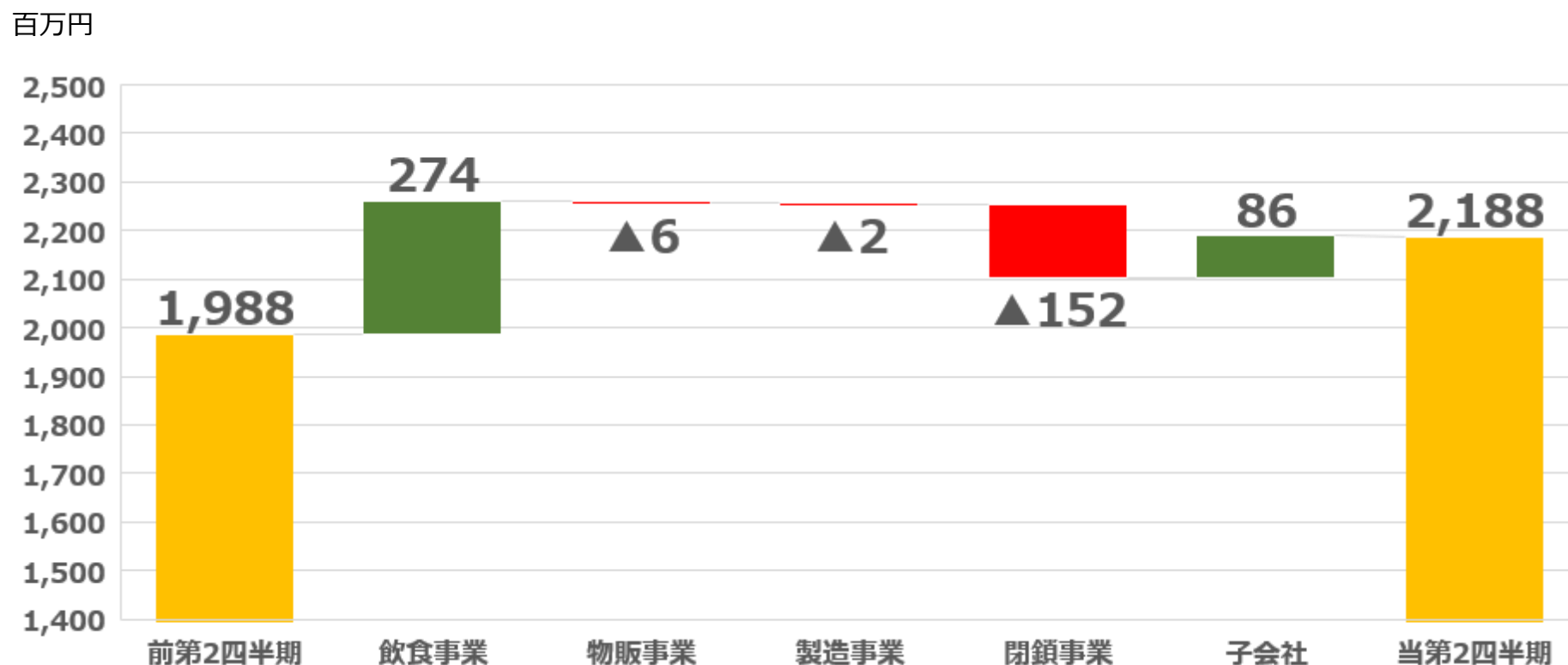
営業利益 : 原価、水光熱費の高騰影響もあるが、売上高の伸長により増益（前年同期比58百万円増）

(百万円)

	23.3期2Q		24.3期2Q		前期比		年間計画	
	実績	売上高比	実績	売上高比	金額	対比	計画	進捗率
総売上高	1,988		2,188		200	110.1%	4,377	50.0%
売上総利益	1,206	60.6%	1,254	57.3%	48	104.0%	2,515	49.9%
営業利益	▲33	-1.6%	26	1.2%	58	-	34	74.9%
経常利益	▲21	-1.1%	31	1.4%	52	-	52	60.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	▲38	-1.9%	12	0.5%	50	-	22	52.5%

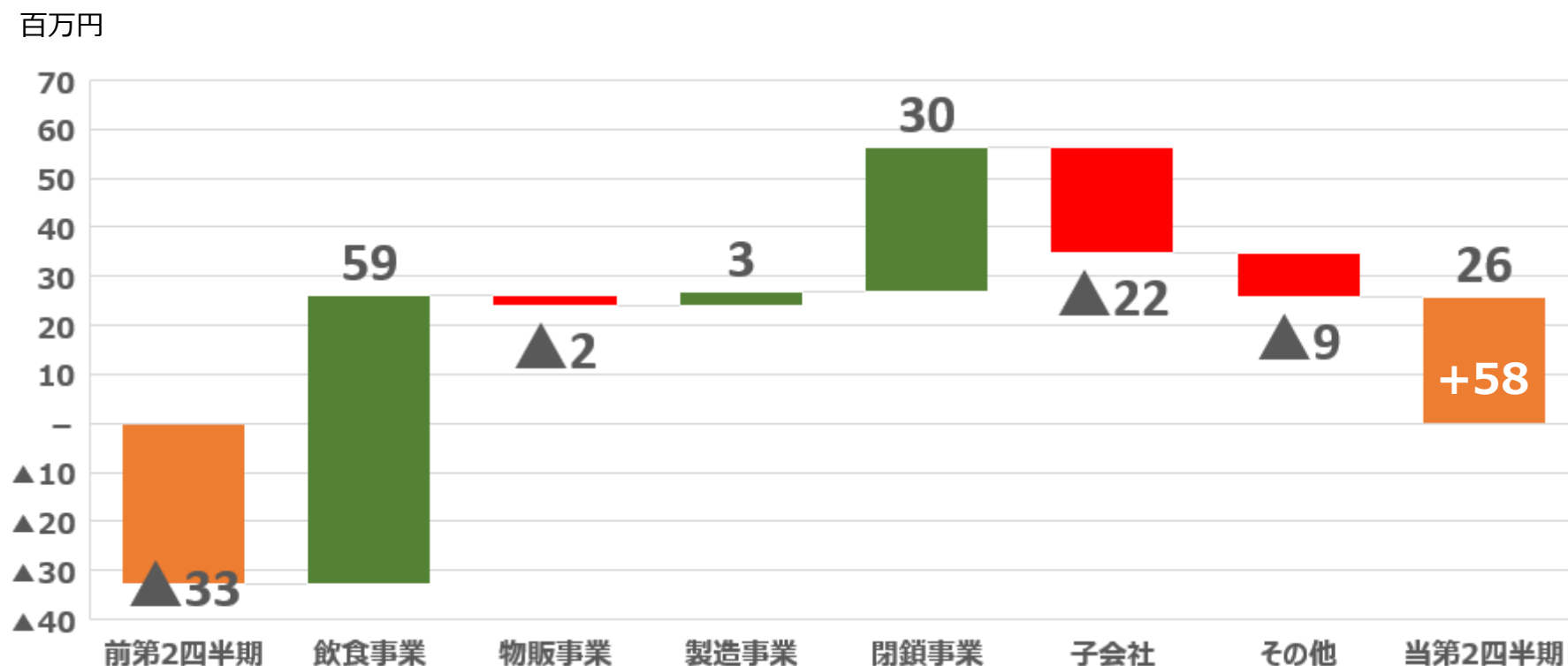
○セグメント別ー売上高実績

- 飲食事業が前第2四半期累計から+274百万円（前年同期比117.6%）
- 2023年2月に取得した連結子会社+86百万円
- 事業閉鎖による売上影響△152百万円

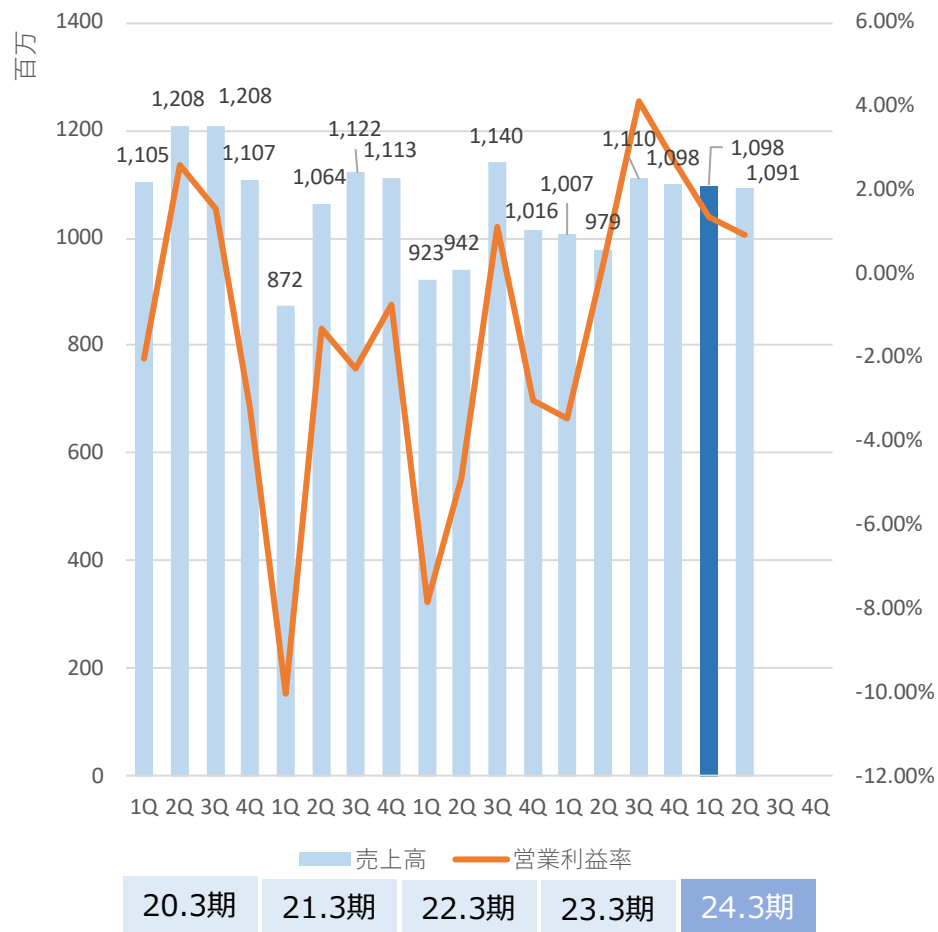


○セグメント別ー営業利益実績

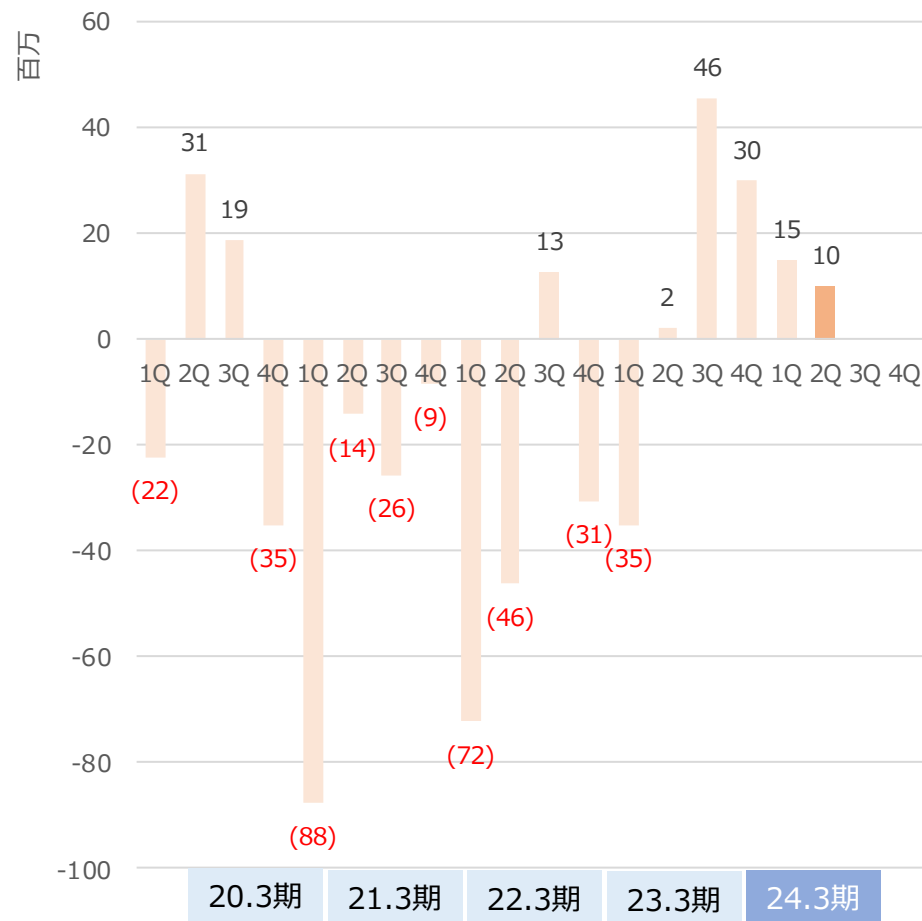
- 飲食事業が前第2四半期累計+59百万円（前年同期比148.2%）
- 製造事業が前第2四半期累計から+3百万円
- 2023年2月に取得した連結子会社△22百万円
- 事業閉鎖による利益影響+30百万円



売上高及び営業利益率の推移(単体)



営業利益の推移(単体)



○連結貸借対照表

(百万円)

	前期末	第2四半期末	増減額
流動資産	914	822	▲92
現金及び預金	598	498	▲100
その他	316	324	8
固定資産	2,071	1,999	▲72
有形固定資産	1,322	1,275	▲47
無形固定資産	226	220	▲6
投資その他の資産	523	504	▲19
資産合計	2,984	2,821	▲164

	前期末	第2四半期末	増減額
流動負債	667	737	70
短期借入金	267	258	▲10
1年内返済予定長期借入金	—	122	122
その他	399	358	▲42
固定負債	2,234	1,986	▲248
長期借入金	2,103	1,859	▲245
その他	131	127	▲3
負債合計	2,901	2,723	▲178
純資産合計	84	98	14
負債・純資産合計	2,984	2,821	▲164

○土地・建物の売却により固定資産が減少

○借入金の返済により短期借入金及び長期借入金が減少

1. 営業店舗の改装・美装

モスバーガー苫小牧店改装、ミスタードーナツ二戸ショップ、宮古ショップ美装

2. 特定技能外国人の雇用

人材不足解消と今後の海外展開を見据え特定技能外国人の雇用を開始。

⇒入管手続きの関係もあり10月より雇用開始となった。

3. 海外展開

10月～11月台湾新光三越にてかつてん催事販売及びトワヴェールカッサータ等販売

4. トワ・ヴェールスイーツ新商品

好評販売中のトワ・ヴェールカッサータに加え、

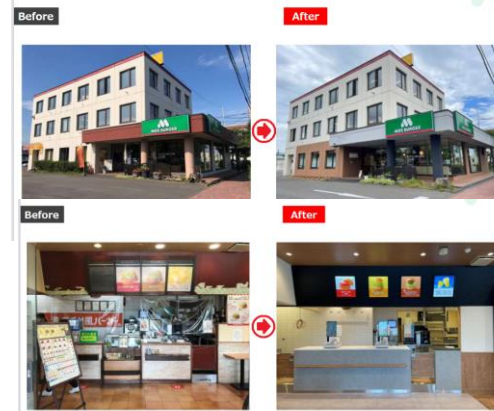
新たにムース・フロマージュ、ブルーチーズケーキを開発販売開始。

5. 子会社TOMONIゆめ牧舎

生乳買取価格は上昇、飼料価格単価は減少し経営環境が改善している中、さらに改善を加速するため

- ①生産量増産に向け初任牛40頭購入。飼料費削減に向けデントコーン作付拡大。
- ②廃用牛の加工商品化⇒かつてんメニュー化、リテール販売

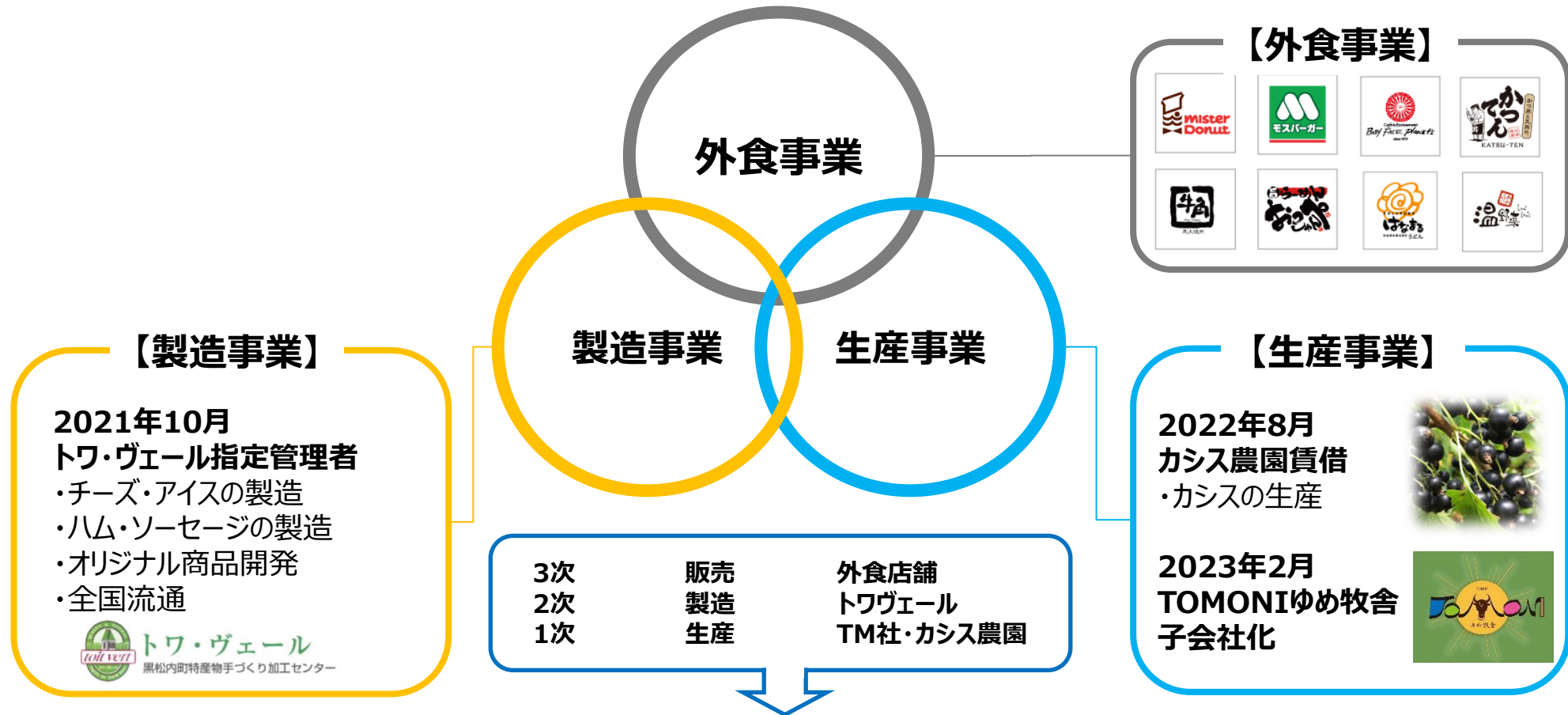
写真（ 外観 ）



ご参考資料

外食事業から、「食」事業へ

外食店舗運営主体の事業構造から、「食」全体に関わる事業構造へ転換を進めている。



販売 + 製造 + 生産 ⇒ 事業の6次化を推進

外食事業から、「食」事業へ

経営戦略基本方針

外食店運営中心の事業構成から脱却し、食全体を担う事業構成へ転換するため
製造事業、販売事業、生産事業を強化する

外食事業

- ① 主要4ブランド（モスバーガー、ミスタードーナツ、ベビーフェイスプラネッツ、かつてん）の強化

製造・生産事業

- ① 食品製造事業（製造部）
- ② 卸売、物販事業（リテール部）
- ③ 海外事業
- ④ 農園及び牧場（TM社）

FC加盟開発

- ① かつてんの加盟店開発
- ② FC展開によるロイヤリティ収入拡大

外食事業から、「食」事業へ

製造・生産事業

- ①食品製造事業
- ②リテール事業（卸売、物販）
- ③海外事業

①食品製造事業（トワ・ヴェール事業）

- ・2020年4月に黒松内町と業務提携、2021年10月より指定管理業者として事業開始
- ・乳製品（チーズ、アイス等）・肉製品（ソーセージ等）の製造・加工を行う
- ・生産拡大
- ・マーケティング本部と連携し北海道産食材を用いた商品提案・開発、ブランディング



②リテール事業（卸売、物販）

- ・製造部門と連携しトワヴェール製品の販路拡大
- ・FC加盟店への食材提供のほか、新規仕入先開拓、OEM生産品の販売、店舗での物販、EC販売など
- ・地方に埋もれた逸品→付加価値を創造（コラボ）→ふるさと納税+外食+問屋+海外など



新規顧客：MAX生産体制を考慮して価値向上理解企業
既存顧客：「売場改善」&「プラス一品購買活動」
催事販売：業務委託にて運営→教育強化（マニュアル進化）

③海外事業

- ・台湾、ベトナム、シンガポール、韓国、香港など開催されるイベントでの催事販売参加

外食事業から、「食」事業へ

製造・生産事業

④農園及び牧場（株）TOMONIゆめ牧舎

農産分野への取り組み

- 2022年8月離農者よりカシス農園（黒松内町）を賃借し、カシス生産を開始。
 - 黒松内カシスサイダーへの原料卸とジャム等の加工販売。
 - 現状は500Kgほどの収穫量を5年内に収穫量3倍にする計画
 - トワヴェール製品、ベーグル製品
- ⇒カシスカッサータ、カシスクリームチーズ等の原材料に利用



「農地所有適格法人 株式会社TOMONIゆめ牧舎」を子会社化

- 1次産業である生産事業の拡充を目的に2023年2月に子会社化した。
- 乳製品・肉製品の製造販売を行っており、乳製品製造の主原材料である生乳を供給し、地域ブランドを前面に押し出した商品展開など強力なシナジー効果。
- エリア的側面では、製造事業（トワ・ヴェール）と同一地域にあり、拠点地区である寿都郡黒松内町との協業、地域内の他1次、2次産業従事者との連携など地域ぐるみでの取り組み。



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料の内容及び資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保障するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更又は廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合であっても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。
- 資料及びデータの無断転用はご遠慮ください。